

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 1.災害時における地域住民との連携が不十分。 2.2Fから1Fへの避難誘導方法が確立されていない。 3.被災後のケアについてのマニュアルがない。	1.災害時における地域住民との連携 2.2Fから1Fへの安全な避難誘導方法の確立 3.被災後のケアマニュアルの作成	1.近隣の住民の方施設の内容を理解して頂き、災害時の協力を仰ぐ 2.担架を購入し、避難訓練を実施する。 3.被災したGHの経験を参考にし、被災後のケアマニュアルを作成する。	12ヶ月
2	16	○初期に築く家族等との信頼関係 1.入居後の面会の回数が、最近入居されたご利用者ほど少ない傾向がある。	1.ご家族に認知症のケアは施設とご家族の協働が重要であることを説明する。 2.面会の機会を増やす。	1.ご家族に面会の重要性を説明する。 2.面会時に居心地の良い環境を整える。 3.レクリエーションにご家族にも参加していただきご本人や他ご利用者との交流を深める。	12ヶ月
3	21	○利用者同士の関係の支援 1.全てのご利用者同士の関係が円滑であるとは言えない。	1.ご利用者一人ひとりの長所を伸ばし、孤立せずにお互いを労わって支え合えるような関係を構築する。	1.ご利用者一人ひとりの能力や性格を考慮し、ユニットでの役割分担をし、お互いに支え合っ て生活できるようにする。	12ヶ月
4	12	○就業環境の整備 1.有給休暇の取得率が低い。	1.有給休暇の取得率を上げ、職員が心身の休息を十分にとり、ゆとりのあるケアを目指す。	1.シフトの作成の仕方を改善し、有給休暇の取得率を上げる。	12ヶ月
5	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 1.全てのご家族と重度化や終末期に向けた方針の共有が出来ていない。	1.全てのご家族と重度化や終末期に向けた方針を共有する。	1.ご家族の面会時に重度化や終末期に向けた対応について十分に説明し、書面で同意を頂く。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。